

記者発表事項

部 局 名	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部			
責 任 者	徳島大学歯学部長 永田 俊彦			
報道タイトル	平成19年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において石丸直澄准教授が若手科学者賞を受賞			
報 道 概 要	<p>報道概要平成19年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において、大学院ヘルスバイオサイエンス研究部石丸直澄准教授の「NF-κBの新たな免疫制御機構の研究」の業績が、若手科学者賞を受賞した。</p> <p>表彰式は、平成19年4月17日(火)に虎ノ門パストラル(東京都港区虎ノ門4-1-1)で行われる。</p>			
備 考	業績は資料のとおり			
詳細取材窓口	担当者所属	医学・歯学・薬学部 等事務部第二総務 係長	担当者氏名	内海 剛

氏名 ^{いしまる}石丸 ^{なおずみ}直澄 (39歳)
現職 国立大学法人徳島大学
大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 准教授

NF- κ B の新たな免疫制御機構の研究

業績

免疫反応の中核を成す T 細胞の活性化機構において転写因子である NF- κ B が極めて重要な役割を果たしていることが知られているが、NF- κ B の5つのサブユニット同士の相互作用に関しては不明な点が多く、それらのサブユニットの機能的役割に関しても明らかにされていなかった。

氏は、T 細胞の活性化機構において NF- κ B サブセットの詳細な動態を明らかにし、NF- κ B サブセット同士で相互作用することにより NF- κ B そのものの活性を調節する新たな制御機構を発見した。さらに、NF- κ B サブセット間での相互作用に不全が生じると自己免疫疾患を発症させる要因になることを明らかにした。

本研究成果は、新たな免疫抑制機構を明らかにしたものであり、自己免疫疾患を含め難治性免疫疾患への治療法の開発へと期待される。

主要論文：「Regulation of native T cell function by the NF- κ B2 pathway」
Nature Immunology 誌、p763-772、2006年5月発表